

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



Noism1「ZAZA～祈りと欲望の間に」
【2013.5.24～26/劇場】

言葉が出ないほど良かったです! すばらしい身体と精神、金森さんが目指すものを目の当たりにしました。これほど集中して観た公演はこれまでにありません。身体の芯までエネルギーに満たされて、これが舞踊の持つ力なのだとつくづく思いました。
(上越市/50代/女性)

いつものことながらダンサーの身体の動きに感動しました。人間ってこんな動きができるんだなあって。難しそうでわからないという人もいるけれど、音楽を楽しむようにダンサーの動きを楽しめばいいと思います。新潟にNoismがあるって実はすごいことだと市民はもっと気づくべきでは?! (新潟市/40代/女性)



十朱幸代出演 司馬遼太郎「燃えよ剣」
～土方歳三に愛された女、お雪～
【2013.5.17・18/能楽堂】

十朱幸代さんが映像の100倍くらい可愛くてびっくりしました。お雪という人が実在したら本当にこういう人だったのではないかな...と思うくらい。背景がなくても情景が見え、性別も年齢も違う登場人物が浮かびました。大女優さんの演技力がすごいです。
(50代/女性)

宮川彬良さんのピアノ曲が流れる中で十朱さんの語り、なんて贅沢な時間なのでしょう。お雪さんのように愛されたいものです。それにしても十朱さん、お綺麗ですね!! (60代/女性)



りゅーとぴあ・1コイン・コンサート vol.64
【2013.5.19/コンサートホール】

山本貴志さんのショパンをぜひ聴きたいと思っていました。山本さんのおだやかな雰囲気と、本当に良い人だなあと感心するしぐさ、そしてあの指のタッチ! 力強い演奏に感動しました。今日ほど500円玉に価値があると思ったことはありません。
(新潟市/50代/女性)

最初の音を聴いている時に、なんと涙がにじんできました。一音一音がとても心にしみました。ショパンの英雄ポロネーズを聴いて元気をもらいました。今日、素敵なバースデープレゼントをいただきました。
(新潟市/40代/女性)



りゅーとぴあ能楽基礎講座特別版
「馬場あき子 能楽の愉しみ」
【2013.5.25/能楽堂】

歴史的背景を知った上で能の楽しさや奥深さを感じることができ、大変たのませていただきました。
(新潟市/60代)

大変わかりやすく、興味を広げてくれるような内容でした。能楽師さんの身体の動きを初めて見ましたが、とても細やかな動きが多く驚きました。(柏崎市/30代/男性)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で
ペア2組
4名様



イタリアンレストラン
「リバージュ」(館内3F) ランチ券

プレゼント②

抽選で
ペア2組
4名様



岸恵子出演 藤沢周平「蟬しぐれ」公演チケット
プレゼントチケットは9/20(金) 14:00の回となります。ご了承ください。

応募方法:ご希望の商品名(①「リバージュ」ランチ券、②「蟬しぐれ」公演チケット)、(1)住所、(2)氏名、(3)年齢、(4)職業、(5)電話番号、(6)本誌を入手した場所、(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.33プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2013年8月20日(火) 必着



イタリアンレストラン
「リバージュ」3F
TEL 025-224-7022
営業時間/ランチ11:30～14:30
ディナー17:00～21:00(LO 20:00)

～夏の冷製パスタフェア～
6/1～8/31(ランチタイム)

メニュー

- ★小海老とフレッシュマトのカッペリーニ
- ★ズワイガニとアボカドのクリーム和えカッペリーニ
- ★生ハムとカマンベールチーズのバジル風味のカッペリーニ

※スープ、サラダ、コーヒー又は紅茶付き

各¥1,200(税込)



※館内イベント開催時等にご予約のお客様のみとさせていただきます。
※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

【編集後記】

今号の表紙は、新潟市ジュニアオーケストラ教室のメンバーに登場してもらいました。8月に開催される「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」では、全国の公立ジュニアオーケストラ7団体で活動している子どもたちが新潟に大集結します。夏の高校野球にも負けない爽やかな感動をコンサートホールでぜひご体感ください。その他、新潟市ジュニア音楽3教室の定期演奏会やAPRICOTの「名犬ラッシー」、Noism2 夏の特別公演など、りゅーとぴあ発の若さあふれるステージもどうぞお楽しみに!(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。
新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、新潟県立図書館(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
■次号のりゅーとぴあマガジンvol.34は2013年10月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2013 Summer vol.33 | Life with Performing Arts



わかちあう、感動

【CONTENTS】

- Spotlight Interview ぶらりFURUMACHI
- Noism Report 感動の余韻
- Ryutopia Navigation 読者プレゼント
- オルガンの巨匠たち りゅーとぴあカレンダー 2013 Summer

極上の音色を 奏でる ウィーンの巨匠

世界最高峰のオーケストラであるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターを務め、日本にも数多くのファンを持つヴァイオリン界の巨匠ライナー・キュッヒル。今年10月に開催される新潟初リサイタルを前に、ウィーンならではの音楽の魅力やリゅーとびあでの思い出などについてお話をうかがいました。



—— ウィーン・フィルのコンサートマスターとして、今のウィーン・フィルをどのように思いますか？

勤続42年の現役コンサートマスターである私から見ると、現在のウィーン・フィルは若い世代がウィーン・フィルの伝統を保ちつつ、新しい試みに挑戦していると感じます。

—— ウィーン・フィルが他のオーケストラと異なるのはどこでしょうか？

ウィーン・フィルの特殊性は自主運営と、世界でも稀な毎晩のオペラ座での演奏です。楽団員たちは数々のオペラの演目を一年中演奏するといった具合に常にオペラを弾いていますから、その熟練がウィーン・フィルの特徴ともいえます。また楽団員の中にはアンサンブルを組んだり音大の教授を務めるなど、様々な場所で活躍する、ひとりで何役もこなす演奏家が多くいます。

—— キュッヒルさんにとって、ウィーン・フィルで演奏することは？

ウィーン・フィルで演奏することは、私にとってこの上ない喜びであり、幸せであり、私の人生です。

—— 多くのクラシックファンを魅了するウィーンの伝統的な響きについて、キュッヒルさんはどうお考えですか？

私にとってウィーンの響きとは、私たちの師匠が音大で教えてくれた独特の奏法、それにオーストリアという国の環境が加わって身体の中からにじみ出てくる音です。この響きは言葉では言い表せません。ただ、私は14歳からウィーン国立音楽アカデミーで勉強をしてきましたから、10月のリサイタルで少しでも皆様にウィーンの香りをご披露できればと願っています。

—— これまでにリゅーとびあでは、ウィーン・フィル、ウィーン・リング・アンサンブル、東京交響楽団の演奏会にご出演されています。印象に残っている新潟での思い出はありますか？

地図で見ると新潟は日本海側に面していて、オーストリアのように冬はかなり寒いところですね。印象に残っているのは、2004年1月にウィーン・リング・アンサンブルで来日した際、北日本が猛吹雪に見舞われたときのことです。雪のため前夜の札幌公演をキャンセルしなくてはならず、翌日の早朝に札幌から函館までバスで6時間かけて移動し、函館から名古屋経由のフライトで新潟に向かいました。リゅーとびあに到着したときは開演時間の午後7時を過ぎていましたが、それでも新潟のファンの皆様は待っていてくださって、1時間遅れで演奏できました。本当に嬉しかったことを覚えています。その日の演奏会では、リゅーとびあコンサートホールのモダンな作りと美しい響き、そして演奏に聴き入るお客さまの姿にとっても感動し、大変だった移

動の疲れが一度に癒されました。

—— 新潟初となる今回のヴァイオリン・リサイタルの聴きどころを教えてください。

おなじみのベートーヴェン「クロイツェル・ソナタ」はもちろんですが、演奏される機会の少ないその他の曲にぜひ注目してください。小品ですがそれぞれに特徴があり、楽しんでいただけたと思います。

—— 最後に新潟のファンへメッセージをお願いします。

ウィーンの音を少しでも皆様にお届けできることはとても光栄です。素晴らしいホールでの演奏を心から楽しみにしております。

ライナー・キュッヒル Rainer Küchli / ヴァイオリニスト

1950年オーストリア生まれ。1964年ウィーン国立音楽アカデミーに入学し、フランツ・サモヒル教授に師事。1967年よりソロ活動を開始。ウィーン・フィルをはじめ、ウィーン響、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団などのオーケストラ、並びに指揮者ではアバド、バーム、バンスタインらと共演。1971年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。現在は各団のほかホーフブルグカペレ、ワールドオーケストラフォービースの第一コンサートマスター。ウィーン国立音楽大学正教授、キュッヒル弦楽四重奏団、ウィーン・リング・アンサンブルリーダー。



欲望を具現化した舞踊家たちの新たな祈り

活動10年目を迎える今年、Noism1待望の新作がリゅーとびあ新潟市民芸術文化会館で発表された。タイトルは「ZAZA～祈りと欲望の間に」。2005年の「black ice」、2009年の「ZONE～陽炎 稲妻 氷の月」に続く3度目の3部構成作品となり、新たな試みで挑む注目作でもある。芸術監督・金森稔、そして舞踊家たちの「祈り」とは？ 彼らの「欲望」は、果たしてどう作品に転化されるのか……。

「ZAZA～祈りと欲望の間に」より「A・N・D・A・N・T・E」

この春、リゅーとびあ新潟市民芸術文化会館で初演を迎えた『ZAZA～祈りと欲望の間に』。作品は『A・N・D・A・N・T・E』『囚われの女王』『ZAZA』の3部からなり、その全てががっついてない試みと鮮やかな創造世界で満たされていた。

第1部は、バッハの楽曲を用いた『A・N・D・A・N・T・E』。アンダンテとは、「歩くような速さ」の意味。ここで金森は、正味5分の音楽を20分に引き延ばし、独自の時空間を舞台上に作り上げている。

白い紙片で象られた円の周りを、ゆったりと進む舞踊家たち。彼らは時に円の中で出会い、手を取り踊り、また自らの道へと戻る。歩みはあくまでも緩やかで、しかし確実に時間は過ぎる。丁寧に刻む一歩一歩が、ひとつひとつ過去の出来事になってゆく。白一色の空間に、紙片がひらひらと輝く様子は、どこか崇高ですらある。だが、そこにも終末は訪れる。最期の瞬間まで、誰もが歩み続けなければならぬ。ゆるや



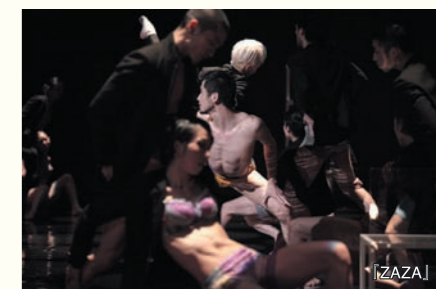
「囚われの女王」

かに速度を変えた時の流れが、切なくも美しくその事実を明らかにする。

第2部は、フィンランドの作曲家・シベリウスの楽曲を使った井関佐和子のソロ作品『囚われの女王』。Noismの公演で井関がソロ作品を踊るのは今回が初めてのことで、観客の期待値は大きく膨れ上がり、張り詰めた空気が会場を支配する。彼女が演じるのは、女王、番人、若い男、英雄という、詩に書かれた4名のキャラクター。たったひとりで、この壮大な物語を演じきるといふ。

原色のステージに立つ井関の横顔は、凜として気高い。その肉体は、ひと際純度を高めたようだ。強靱なバネで色濃く残像を描き、圧倒的な野性味をもって舞台を制す。これほど自由な井関の精神を観るのは、初めてのように思う。円熟味を増しながら、みずみずしさも忘れない。潔く全てを晒してみせる姿には、余裕さえ感じられる。壁を打ち破るラストシーンはあくまでも力強く、彼女の生き様と重なって見えた。

第3部『ZAZA』のテーマは“欲望”。本作の創作過程で、金森は“舞台上で何がしたいか”と舞踊家たちにアンケートを取り、各々の“欲望”を具現化するという大胆な手法に挑んでいる。舞踊家たちの“欲望”は、ピースの組み合わせとなって次々



「ZAZA」

とステージにあらわれてゆく。パートナーを見つける者、共振する者、歌う者、ひとり踊る者……。金森は舞踊家たちの望みを受け止め、叶え、俯瞰する。観客もまた、そこに欲望を映す。まだ見たことのない何かを、日常から解放される何かを切に求める。混沌として雑多な世界は、過去のどのNoism作品とも類似することはない。望みはひとつ遂げられた。しかしその体験は、さらなる欲望の引き金となる。これより高みには何があるのか、この先には何が見えるのか……。露わにされた欲望は、舞踊家たちに終わりなき修練を、そして金森自身に果てしない責務を課す。より美しい何か、より強く心揺さぶる何かを——。欲望は尽きることなく、我々はまた新たな希望を追い求めることになる。

取材・文：小野寺悦子 写真：篠山紀信

Noism2 夏の特別公演 in 新潟県政記念館

『鳩の反動～The DOVE bounced off the language wall』

2012年に引き続き、今年もNoism2による夏の特別公演を行います。今回の舞台となるのは、明治16年に建てられた国指定重要文化財である「新潟県政記念館」。歴史ある空間とNosim2の身体がどう呼応するのか、ご期待ください。

- 芸術監督：金森稔
- 演出振付：山田勇気
- 出演：Noism2

【日時】2012年7月13日(土)・14日(日) 各日18:00開演
【会場】新潟県政記念館(旧新潟県会議事堂)
【入場料】全席自由¥1,000 発売中



新潟県政記念館



私たちはNoismの活動を応援しています

SHISEIDO Chacott stage R HARADA DENTAL CLINIC はらだ歯科医院

活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援して下さる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/リゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

リゅーとびあ友の会 N-PAC mate会員優待コンサート

ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル Information

【公演日】2013年10月9日(水) 19:00開演 【会場】コンサートホール

【曲目】ベートーヴェン：ロマンス第2番、ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」
チャイコフスキー：懐かしい土地の思い出「瞑想曲」「スケルツォ」「メロディ」
クライスラー：ウィーン奇想曲、グラナドス／クライスラー編：スペイン舞曲
クライスラー：ロマンチックな子守歌、ジプシー奇想曲
ヴィエニャフスキ：グノーの「ファウスト」の主題による華麗なる幻想曲

【チケット】全席指定 会員優待¥3,000 一般¥6,000 発売中

※リゅーとびあ友の会会員様は会員優待特別価格でチケットをお求めいただけます。※リゅーとびあ友の会への入会方法はリゅーとびあカレンダー裏面をご覧ください。

